

を手がけた。大変な博識家で、まさに Walking database である。趣味はカメラの収集。

荻野勝哉講師 (A型) は、ゲーム理論と多目的意思決定論、およびその電力供給システムへの応用が専門。趣味はレコード収集。

高橋 豊助手 (A型) は、主に、待ち行列システムの解析と計算機網、通信システム、並列処理システム等のシステム性能評価に関する研究を行なっている。ドライブが趣味。

室 章治郎助手 (A型) は、組合せ最適化、データベ

ースシステム、通信プロトコルの設計と性能評価を研究している。最近、人工知能関係の研究もはじめている。岐阜県飛騨高山にほど近い国府町出身。登山を好み、スキーはプロ級。

なお、京都大学では、数理工学科の他講座、工学部の他学科、および他学部、研究所等にも、オペレーションズ・リサーチに関連した研究を活発に行なっている研究室が少なからずあることを申し添えてむすびとしたい。

(増山 繁)

愛知工業大学 経営工学科

愛知工業大学は大正元年創立の名古屋電気学校を前身とし、昭和35年電気工学科、電子工学科、応用化学科開設をもって愛知工業大学と改称されました。昭和49年に豊田市と瀬戸市にまたがる 66万m² の広大な現キャンパスに移転し、現在8学科、学生総数は約6000名です。愛知工業大学は昭和46年故後藤謙二前学長が国交断絶の続く中国を訪問、故周恩来首相との会談、中国卓球チームの名古屋市訪問などを実現させ、その後の日中国交正常化への原点となったピンポン外交でも知られています。

その後も中国との親密な交流は続き、昭和55年には中国南京工学院の銭鐘韓学長が本学を訪問、後藤淳学長との間に姉妹校提携が結ばれ、南京工学院教授陣と本学教授陣との交互訪問による学術交流が行なわれています。また毎年10名前後の中国留学生が本学で研修をうけております。彼らは、中国の大学の助教授クラスの人達が大半で、建築工学、電子工学などの先端技術を研修し、もって国土建設と国家繁栄に寄与したいと、これが日本人なら中曽根総理が泣いて喜ぶぐらい愛国心が強い人達です。

経営工学科は昭和37年に開設され、1学年定員160名卒業生総数は3804名にのぼります。指導にあたる教員は、教授5、助教授6、講師7、助手2の計20名で構成されていますが、経営工学科には大学院がありません。そのため、特に講座制はとっていませんが、各教員の専門分野を大別すると、およそ次のようになります。

システム工学 (OR, 電算機)

経営管理学 (経営学, 労務管理)

生産工学 (生産管理, IE)

原価管理学 (管理会計, 財務管理)

人間工学, その他

経営工学科では、小人数教育をめざして、主要必修科目には演習または実習を課し、2~3名の教員で指導にあたります。本学は全学的に情報処理教育に力を入れており、計算センターには、大型電算機 Univac 1100/80 B, 中型計算機 IBM4361-ML5 をホストコンピュータとして計146台の端末が研究に教育にフル稼働しています。計算費用にはCPU時間は含まれず、出力用紙代のみが研究費に計上されるため、大規模最適化計算や大規模構造解析で計算機を利用する場合はとても助かります。

経営工学科でも時代の流れと産業界の要請もあり、情報処理技術者の育成に力をいれています。そのため、ORや生産管理ではCAD, CAMなど計算機と関連づけた基礎教育も行なっています。従来のEDPを主体とした計算機教育からシステム設計、システム最適化、システム運用/制御へと重点が移りつつあるため、OR教育にあたるわれわれもけっこう大変です。現在、本学には9名のOR学会会員がおり、そのうち4名が経営工学科に所属しています。

OR関係のカリキュラムとしては、オペレーションズ・リサーチ (必修4単位), 同演習 (必修2単位), 経営数学 (選択4単位) があり、OR学会会員が担当しております。LP, DP, 待ち合せ理論, PERT, シミュレーションの他に計算機関連の基礎知識を分担して教育しています。

(本告 光男, 金指 正和)